学校番号	324

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究 古文編」　「古典探究 漢文編」（大修館書店）						
副教材等	『プレミアムカラー国語便覧改訂版』（数研出版） 『進研ウィンステップ古典２ 新課程版』（株式会社ラーンズ） 『つながる まとまる 古文単語 500 PLUS』（いいずな書店） 『９訂版 読解を大切にする 体系古典文法』（数研出版） 『三訂版 体系漢文』（数研出版） 『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ２』（数研出版） 三訂版 古典文法マスタードリル１［助詞・識別・敬語・修辞編］』（数研出版） 『改訂版　体系漢文学習ノート』（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・奥深い古典の世界観に触れ、伝統的な言語文化を味わうとともに、異文化理解・他者理解の素地を養いましょう。
・古典の基礎知識を定着させ、読解に必要な能力を養いましょう。
・教材を利用して予習・復習を行い、計画を立てて考査に臨みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとし、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	・1年次に学習した用言の活用および助動詞の基本的事項について再度確認する。 ・係助詞「や(は)　か(は)」について確認する。 ・説話に込められた教訓について考察する。 ［教材］ **『宇治拾遺物語』** **「検非違使忠明のこと」** **『十訓抄』** **「大江山」** **視点「生野」**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・敬語表現について学習する。 ・歴史物語という種類の文章について理解する。 ・『大鏡』の内容や叙述の仕方の特徴について考える。 ［教材］ **『大鏡』** **「競べ弓」**	a：古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解を深めている。 b[読]：道長・伊周・道隆の人物像をおおむねとらえたうえで、「二度」の解釈の可能性について説明できている。 c：登場人物の人物像や時代背景について理解し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・敬語表現について学習する。 ・歴史物語という種類の文章について理解する。 ・花山天皇と道兼の人物像をまとめる。	a：古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解を深めている。	指名音読 小テスト	発問評価	

	［教材］ **『大鏡』** **「花山天皇の出家」** **古文の窓「藤原道長の栄華」**	b[読]：本文の展開をおおむね整理し、花山天皇と道兼の人物像を把握できている。 c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	定期考査	定期考査	授業内活動 課題提出
	・漢文の書き下しの基本的事項について再度確認する。 ・訓読に重要な語句、句法を確認する。 ［教材］ **『世話新語』** **「漱石枕流」**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：故事に込められた教訓を積極的に考察しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・漢文の書き下しの基本的事項について再度確認する。 ・訓読に重要な語句、句法を確認する。 ［教材］ **『後漢書』** **「糟糠乃妻」**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：故事に込められた教訓を積極的に考察しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
前期末	・敬語表現について学習する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。 ［教材］ **『源氏物語』** **「光源氏誕生」**	a：敬語の基本的な意味・用法を理解している。 b[読]：本文の展開をおおむね整理し、登場人物の人物像を把握できている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・随筆という文章の種類を踏まえて、作者の批判的精神が提示する内容や展開を的確に捉える。 ［教材］ **『方丈記』** **「ゆく河の流れ」**	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：本文の構造を理解したうえで、「無常」に対する作者の考えを把握できている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出

	・諸子百家が現れた春秋・戦国時代について学習する。 ・それぞれの思想の違いについて考察する。 ・訓読に重要な語句、句法を確認する。 ［教材］ **孟子** **「不忍人之心」** **老子** **「人之性悪」** **荘子** **「曳尾於塗中」** **韓非子** **「侵官之害」**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、主体的に文章に表そうとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
後期中間	・日記文学の表現方法と随筆意図を読み解く。 ・筆者の若い夢とその実現にかける思いを読み解く。 ［教材］ **『更級日記』** **「門出」**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：本文の展開をおおむね整理し、作者の心情について把握できている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・敬語表現について学習する。 ・隆家がような人物として描かれているか、まとめる。 ・筆者の発言の意図、おもしろみをとらえる。 ［教材］ **『枕草子』** **「中納言参りたまひて」**	a：古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解を深めている。 b[書く]：隆家の人物像をおおむねとらえたうえで、筆者の発言のおもしろさを説明できている。 c：筆者の発言のおもしろみについて粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・訓読に重要な語句、句法を確認する。 ・『史記』の成立や内容についての概要を理解する。作品の歴史的背景について知識を得る。	a：『史記』の成立や内容についての概要を理解している。作品の歴史的背景について知識を得ている。 b[読]：本文の読解を踏まえて、劉邦が鴻門から脱出することができた理由をおおむね適確に分析できている。 c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	

	［教材］ **「鴻門之会」(『史記』)** **「四面楚歌」(『史記』)**	理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。			授業内活動 課題提出
後期末	・敬語表現について学習する。 ・物語中の歌について、誰がどこで詠んだ歌であるかを確認し、主題を考える。 ［教材］ **『伊勢物語』** **「初冠」** **「渚の院」**	a:古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解を深めている。 b[話・聞]:登場人物の交流について、本文の内容をおおむね理解したうえで、自分の考えを述べられている。 c:登場人物の交流関係について自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・敬語表現について学習する。 ・作中に登場する歌の解釈について考える。 ［教材］ **『源氏物語』** **「若紫との出会い」**	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:光源氏が女子にひかれる理由を理解し、尼君と女房の歌に込められた心情を説明できている。 c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・訓読に重要な語句、句法を確認する。 ・諸子百家が現れた春秋・戦国時代について学習する。 ［教材］ **『唐宋八家文読本』** **「師説」**	a:古典を読むために必要な語や句法について理解を深めている。 b[読]:韓愈の「師」というものに対する考え方を理解して、内容をおおむね適確に指摘できている。 c:本文を踏まえ、「師道」について考えたことをグループでの話し合い、積極的に意見を発表している。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間